

■米国：EII、2009年の発電量は景気低迷などにより前年比3.7%減と公表

エジソン電気協会（EII）は、2009年の発電量が前年比▲3.7%（2009年発電電力量 3.9兆 kWh）となったことを公表した。この減少率は1938年以降最大となる。その大きな要因としては、景気低迷と2009年夏季の気温が穏やかに推移したことをあげている。特に減少が大きい地域は、イリノイ州・ミシガン州・オハイオ州などの産業地域で▲6.0%、ミネソタ州やアイオワ州などの地域で▲5.4%となっている。最も減少幅が少ないテキサス州などの地域でも▲1.1%であった。